



学校だより

いちのせ



平成30年度
2月号

大垣市立一之瀬小学校

「不完全なもの」から「より完全なもの」をめざす取り組みに

校長 浅野 哲男

日光東照宮の「陽明門」の柱が一本だけ逆さ柱になっているのをご存じでしょうか。これは、魔除けの意味もあるのですが、「建物は完成した瞬間から、崩壊が始まる」という思想の元に、わざと不完全な状態にしています。古書などにも、「完全なものは美しくない」とあり、有名な寺の庭でも、意味を持って不完全な風景にしてあったりするそうです。これは、私たち人間にも言えることだと思います。意識をコントロールすることが難しいという不完全さを入れて、完璧に作ってあるのかもしれませんが。



さて、まとめの3学期が始まってはや半月が過ぎようとしています。2月22日(金)に開催される学習発表会では、それぞれの学年発表の会場は今年度より体育館ではなく、それぞれの教室または隣の特別教室で行います。(開閉開式と太鼓発表・合唱発表については、体育館で行います)

なぜ今年度会場を変更したかということ、寒い中での長時間にわたる発表を避けたいこと(昨年度の保護者の皆様の反省から)の他に3つの理由があります。

① 目の前での発表から、その場で質問や感想・励ましをいただいたことを次に生かしたいからです。

子ども達は、いただいた感想や励ましをもとに、さらによりよい発表をめざそうと頑張ります。練習の時から「完全な発表」をめざして工夫するのですが、そこは子ども達です。十分でないところもあることでしょう。こうした感想や励ましから「よりよい発表」をめざして頑張ろうとする姿を見ていただきたいと思います。



② 持ち時間 30 分を十分生かして、子ども達の発表時間を十分確保したいからです。

今回は、学年発表を教室棟の2会場あるいは3会場で行いますので、一人の持ち時間は今までより倍に使えることとなります。もちろん30分の間、少ない人数で発表し続けることはできませんので、同じ発表を2回繰り返し、途中観客からの感想や励ましをいただくこととします。子ども達が再チャレンジの2回目発表で劇的にうまくなることは希ですが、褒めていただいたり励ましていただいたことで自信をもって発表する姿が生まれたり課題を認識したりできることを大切にしたいと考えます。また、仲間からのアドバイスを生かしたり、協力する姿も期待できます。



③ 聞いている子達に「ただ聞く」のではなく「もっと知りたい・もっと聞きたい・もっとうまく発表したい」という思いをもって聞くことができるようにしたいからです。

感想発表もどんな反応をすればよいか、何を言えばよいか困る子ども達もいるかもしれませんが。たとえば、内容的な深まりについては、「〇〇のことがわかりました。」の他に「絵や図に表してあって…絵を指し示して…」などスキルのことに目を向けたり、発表の仕方については、「大きな声・強弱・間の開け方」など皆読皆話の段階表に応じた視点でお互いを見合えることでしょう。是非、保護者の皆様からも励ましのお言葉をいただきますようお願いいたします。



2月の行事予定			3月のおもな行事予定		
日	曜	行 事 等	日	曜	行 事 等
2	土	子どもの意見を聞く会	2	土	土曜授業 皆読皆話
5	火	SC来校 ALT PTA役員選出の会	4	月	6年生を送る会 3・4時間目 フリー参観
6	水	中学校一日入学 委員会	5	火	仲よし班解散式 分団児童会
11	月	建国記念の日	6	水	クラブ
13	水	新入学児童一日入学 クラブ ボイストレーニング	7	木	ボイストレーニング
16	土	大垣市造形展(~17日)	8	金	PTA新旧役員会
19	火	ALT	13	水	委員会
20	水	クラブ	18	月	ボイストレーニング
21	木	仲よし縄跳び大会	19	火	卒業式総練習
22	金	学習発表会・学級懇談会(午前) 拡大評議員会(午前)	20	水	大掃除
25	月	クラブ発表会	21	木	春分の日
27	水	委員会 ボイストレーニング	22	金	卒業式準備
			25	月	卒業証書授与式
			26	火	修了式 離任式

1月のアルバム

年賀状仲よし会 1月16日



1・2年生が全校行事である年賀状仲よし会をリードし、やりきることができました。昨年は2・3年生が中心となっていた行事でしたが、学級が少なくなったこともあり、今年、低学年でも全校がリードできる場をつくろうとするチャレンジの行事でした。

いざ取り組みが始まると、各学級に年賀状の書き方や書く枚数などについてお願いに行く子、レクリエーションを考えてみんなが分かりやすいように掲示物を準備する子や説明を考える子など、準備の段階から担当した役割を果たすことにとっても意欲的でした。2年生の子たちのリードによって1年生の子もよく役割を果たしていました。

たしていました。

そして当日、力作ぞろいの年賀状を1・2年生の子が配達しました。もらった子はその年賀状を見て、自分がもらったものをほかの子と見せ合ったりするなどとても嬉しそうでした。イラストコンクールの表彰では、少し緊張しながらも、自分たちよりも大きな子たちに賞状を丁寧に渡していました。全校が楽しめるレクリエーションとして1・2年生が考えた「坊主めぐり」や「かるた」も、ねらい通りみんな楽しんでできて、とっても心が温まる会でした。

会の終了後に、高学年の子供たちが1・2年生の教室に行き、今回の企画をやり遂げた1・2年生に感謝の気持ちを伝えていたのがとても印象的でした。

